

北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全確保及び環境保全  
に関する協定書の一部を改定する協定書

北海道（以下「甲」という。）及び室蘭市（以下「乙」という。）並びに中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「丙」という。）は、平成 17 年 1 月 7 日に締結した「北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全確保及び環境保全に関する協定書」（以下「協定書」という。）の改定について、協定書第 2 4 条に基づき、次のとおり協定する。

別表（協定書第 6 条第 1 項及び第 7 条第 2 項関係）を別紙のとおり改める。

この協定の締結を証するため、本書 3 通を作成し、甲、乙及び丙において記名押印の上、各自その 1 通を保有するものとする。

平成 3 0 年 3 月 3 0 日

甲 北海道  
北海道知事 高橋 はるみ



乙 室蘭市  
室蘭市長 青山 剛



東京都港区芝 1 丁目 7 番 1 7 号  
丙 中間貯蔵・環境安全事業株式会社  
代表取締役社長 谷津 龍太郎



別表(第6条第1項及び第7条第2項関係)

項 目			排出管理目標値	
大気 (排気)	P C B		0.01mg/m <sup>3</sup> N以下	
	ダイオキシン類		0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	
	ベンゼン		50mg/m <sup>3</sup> N以下	
	硫黄酸化物 (注1)		K値3.2以下	
	窒素酸化物 (注1)		250cm <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N以下	
	塩化水素 (注1)		700mg/m <sup>3</sup> N以下	
	ばいじん (注1)		0.15g/m <sup>3</sup> N以下	
	水銀 (注1)		50μg/m <sup>3</sup> N以下	
水質 (排水水)	浄化槽 排水	生活環境 項目	pH	5.8~8.6
			SS	30mg/l以下 (日間平均20mg/l以下)
			BOD	20mg/l以下 (日間平均15mg/l以下)
			COD	80mg/l以下 (日間平均60mg/l以下)
			全窒素	60mg/l以下 (日間平均30mg/l以下)
			全磷	8mg/l以下 (日間平均4mg/l以下)
			n-ヘキサン抽出物質 (鉱油類)	5mg/l以下
	最終 放流口	有害物質	P C B (注2)	0.0005mg/l未満
			ダイオキシン類 (注2)	5pg-TEQ/l以下

(備考)

## 1 別表中、(注1) について

P C B汚染物等処理設備(プラズマ溶融分解処理施設)からの排気のみ適用し、値はいずれも1時間平均とする。

## 2 別表中、(注2) について

第7条第1項に規定するとおり、他の項目とは異なり放流を前提として定めた値ではなく、放流水に混入していないことを確認するための値である。

## 3 操業時の排水の水質確認について (P C B、ダイオキシン類を除く。)

丙は、操業開始後定常運転を開始したときは、最終放流水について水質汚濁防止法(昭和45年法律第138号)第2条第2項第1号に規定する有害物質について測定して異常のないこと(排水基準を定める省令(昭和46年総理府令だい35号)第1条で定める排水基準値の10分の1を超えないことをいう。)を確認するものとする。異常のないことが確認された項目は、事業内容の変更等がない場合に限り、確認された以降の測定を省くことができる。

なお、この取扱いは、P C B汚染物等処理設備(プラズマ溶融分解処理施設)操業開始時も同様とする。